

## 船橋市大学院派遣研修実施要綱

### (目的)

第1条 この要綱は、複雑・高度化する行政の遂行に必要な高度の専門知識及び幅広い視野を習得させるために行う職員の大学院派遣研修（以下「大学院派遣研修」という。）に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

### (派遣先)

第2条 大学院派遣研修の派遣先は、市長が別に定める大学院の各課程とする。

### (派遣期間)

第3条 大学院派遣研修の派遣期間は、原則として3年以内とする。

### (派遣人数)

第4条 大学院派遣研修の派遣人数は、若干名とする。

### (対象職員)

第5条 大学院派遣研修の対象となる職員は、原則として次に掲げる要件を満たす者とする。

- (1) 大学を卒業した者又はそれと同等以上の学力を有すると認められる者であること。
- (2) 大学院に入学する年度の4月1日において、在職3年以上であり、かつ、年齢25歳以上35歳以下の者であること。
- (3) 勤務成績が優秀であり、かつ、心身ともに健全であって、学習意欲が旺盛な者であること。
- (4) 大学院派遣研修修了後において、引き続き本市職員として勤務する意思を有する者であること。
- (5) 所属長の推薦を受けた者であること。

### (応募)

第6条 大学院派遣研修に応募しようとする者は、大学院派遣研修申込書（第1号様式）に所属長が作成した大学院派遣研修職員推薦書（第2号様式）を添えて、市長に提出しなければならない。

### (派遣候補者の選考)

第7条 大学院派遣研修の候補者（以下「派遣候補者」という。）は、第14条に規定する大学院派遣研修生選考委員会の選考に基づき、市長が決定する。

- 2 前項の選考は、大学院派遣研修生選考委員会が論文審査の方法により行うものとする。ただし、大学院派遣研修生選考委員会が必要と認めるときは、面接を行うことができる。

### (派遣者の決定等)

第8条 前条第1項の規定により決定された派遣候補者は、大学院の入試試験を受験しなければならない。

- 2 市長は、派遣候補者が前項の入学試験に合格したときは、当該派遣候補者を大学院派遣研修生（以下「研修生」という。）として決定するものとする。

### (研修生の責務等)

第9条 研修生は、大学院派遣研修の期間中、所定の研究に専念しなければならない。

- 2 研修生は、各学期末後、速やかに大学院派遣研修学期末報告書（第3号様式）により、市長に研修の報告を行うものとする。
- 3 研修生は、研修修了後、速やかに大学院派遣研修修了報告書（第4号様式）により、市長に研修の修了報告を行うものとする。

### (研修生の服務等)

第10条 大学院派遣研修の期間中は、派遣先大学院を研修生の勤務地とみなし、当該研修生の休暇その他服務等に関する事項は、市の規程等によるものとする。

(研修生の取消し)

第11条 市長は、研修生が次の各号のいずれかに該当する場合は、研修生であることを取り消すものとする。

- (1) 職員としての身分を失った場合
  - (2) 大学院から停学又は退学の処分を受けた場合
  - (3) 心身上の理由その他やむを得ない事由により、大学院派遣研修の継続が困難となった場合
  - (4) 大学院での学業又は研究の実績が著しく不良である場合
  - (5) 大学院派遣研修の継続に支障を生ずることとなった場合
- (経費の負担)

第12条 大学院派遣研修に係る次に掲げる経費については、市が予算の範囲内で負担するものとする。

- (1) 入学検定料
- (2) 入学料
- (3) 授業料
- (4) 図書購入費
- (5) その他市長が必要と認める経費

(経費の返還)

第13条 市長は、第11条の規定により研修生であることを取り消した場合は、死亡、疾病その他やむを得ない事由があると認められる場合を除き、当該研修生から市が負担した経費の全部又は一部を返還させるものとする。

(大学院派遣研修生選考委員会)

第14条 派遣候補者を選考するため、大学院派遣研修生選考委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- 2 委員会は、総務部長、職員課長及び人材育成室長をもって構成し、委員長は、総務部長とする。
- 3 委員会の庶務は、総務部職員課人材育成室において処理する。

(補 則)

第15条 この要綱に定めるもののほか、大学院派遣研修の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成9年1月9日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

## 大学院派遣研修申込書

平成 年 月 日

船橋市長 あて

所属  
職・氏名 印

大学院において研修を受けたいので、下記のとおり申し込みます。

### 記

希望大学院	大学大学院	研究科 (専攻)	課程
生年月日	昭和 年 月 日 歳	性別	男 ・ 女
現住所			
最終学歴	大学	学部	学科
市採用年月日	年 月 日	勤続年数	年
異動歴			
入学志願の理由			

注 応募論文（応募の目的・研究したいテーマ等）については、400字詰め原稿用紙5～8枚に作成すること。

## 大学院派遣研修職員推薦書

平成 年 月 日

船橋市長 あて

所属長  
職・氏名 印

大学院派遣研修について、下記の者を推薦します。

### 記

- 1 職・氏名
- 2 希望する大学院の名称 大学大学院 研究科  
(専攻)
- 3 推薦理由 (詳細に記載すること。)

## 大学院派遣研修学期末報告書

平成 年 月 日

船橋市長 あて

所属  
職・氏名 印

このことについて、下記のとおり報告します。

### 記

- |   |                     |       |             |    |
|---|---------------------|-------|-------------|----|
| 1 | 派遣先                 | 大学大学院 | 研究科<br>(専攻) | 課程 |
| 2 | 期間                  | 年度    | 前期・後期       |    |
| 3 | 添付書類                |       |             |    |
|   | (1) 研究概要の状況 (別紙)    |       |             |    |
|   | (2) 単位取得証明書 (学年終了時) |       |             |    |

## 大学院派遣研修修了報告書

平成 年 月 日

船橋市長 あて

所 属  
職・氏名 印

大学院派遣研修を修了したので、下記のとおり報告します。

### 記

- 1 派遣先 大学大学院 研究科 課程  
(専攻)
- 2 期 間 年 月 日 から 年 月 日 まで
- 3 添付書類  
(1) 修士論文の写し  
(2) 修士課程修了証明書の写し  
(3) 成績証明書